

# 認定申請書の記入手順及び記入例について

以下の記入手順・記入例(赤字)に従って認定申請書の記入を行ってください。

## 手順1 申請先及び申請者の情報を記入する

(様式第1-1号)

農業経営改善計画認定申請書

<input checked="" type="radio"/>	石川町長 殿
<input type="radio"/>	福島県知事 殿
<input type="radio"/>	東北農政局長 殿
<input type="radio"/>	農林水産大臣 殿

申請者	住所	福島県石川郡石川町字長久保185-4	連絡先	090-***-***
	フリガナ	イシカワ タロウ	フリガナ	
	個人・法人名	石川 太郎 (印)	代表者氏名 (法人のみ)	
	生年月日・ 法人設立年月日	昭和**年*月*日	法人番号	

### ポイント②

連絡先には、日中に連絡が取れる電話番号を記載してください。

### ポイント①

夫婦・親子等が共同で申請する場合は全員の氏名、フリガナ、生年月日を連記してください。

### ポイント③

代表者氏名、法人番号は法人として申請する場合のみ記入してください。

## 手順2 該当する営農類型をチェックする

農業経営基盤強化促進法（昭和55年法律第65号）第12条第1項の規定に基づき、次の農業経営改善計画の認定を申請します。

### 農業経営改善計画

#### ① 農業経営体の営農活動の現状及び目標

##### (1) 営農類型

現 状	目標（R8年）
<input checked="" type="checkbox"/> 稲作 <input type="checkbox"/> 麦類作 <input type="checkbox"/> 雑穀・いも類・豆類 <input type="checkbox"/> 工芸農作物 <input type="checkbox"/> 露地野菜 <input type="checkbox"/> 施設野菜 <input type="checkbox"/> 果樹類 <input type="checkbox"/> 花き・花木 <input type="checkbox"/> その他の作物（ ） <input type="checkbox"/> 複合経営	<input checked="" type="checkbox"/> 稲作 <input type="checkbox"/> 麦類作 <input type="checkbox"/> 雑穀・いも類・豆類 <input type="checkbox"/> 工芸農作物 <input type="checkbox"/> 露地野菜 <input type="checkbox"/> 施設野菜 <input type="checkbox"/> 果樹類 <input type="checkbox"/> 花き・花木 <input type="checkbox"/> その他の作物（ ） <input type="checkbox"/> 複合経営
<input type="checkbox"/> 酪 農 <input type="checkbox"/> 肉用牛 <input type="checkbox"/> 養 豚 <input type="checkbox"/> 養 鶏 <input type="checkbox"/> 養 蚕 <input type="checkbox"/> その他の畜産（ ）	<input type="checkbox"/> 酪 農 <input type="checkbox"/> 肉用牛 <input type="checkbox"/> 養 豚 <input type="checkbox"/> 養 鶏 <input type="checkbox"/> 養 蚕 <input type="checkbox"/> その他の畜産（ ）

#### ポイント①

該当する営農類型1つにチェックをして下さい。

- ・農産物販売金額1位の作目の販売金額が、農産物総販売金額の80%以上を占める場合、その販売金額1位の作目にチェック。
- ・農産物総販売金額の80%以上を占める作目がない場合は複合経営にチェック。  
例えば、稲作(70%) + 露地野菜(20%) + 施設野菜10%)の場合、複合経営のみにチェック。
- ・「工芸農作物」とは、こんにゃくいも、茶、なたね、ホップ、ごま、薬用作物など。
- ・「その他の作物」には、芝、種苗、栽培きのご類(施設栽培含む)、桑葉、牧草等の販売を含む。
- ・「その他の畜産」には、養蜂、やぎ、うさぎ、うずら、その他の毛皮獣等の販売を含む。

#### ポイント②

以下に出てくる目標とは、すべて5年後の目標です。

### 手順3 農業経営の現状と5年後の目標を記入する

(2) 農業経営の現状及びその改善に関する目標

	現状		目標 (R8年)		現状		目標 (R8年)		主たる従事者の人数	人
年間所得	400	万円	500	万円	年間労働時間	2,400	時間	2,000		
主たる従事者1人当たりの年間所得	400	万円	500	万円	主たる従事者1人当たりの年間労働時間	2,400	時間	2,000	時間	

**ポイント**

農畜産物の生産及び農畜産物の加工・販売その他の関連・附帯事業に係る内容について、現状及び5年後の目標を記載して下さい。  
 ・年間所得は、別紙「農業経営改善計画の所得水準の算出方法」を参考に算出して下さい。

### 手順4 農業経営の規模と5年後の目標を記入する

② 農業経営の規模拡大に関する現状及び目標

(1) 生産										(2) 農畜産物の加工・販売その他の関連・附帯事業 (売上げ)		
作目・部門名 (耕種)	現 状		目標 (R8年)		作目・部門名 (畜産)	現 状		目標 (R8年)		事業内容	現 状	目 標 (年)
	作付面積 (a)	生産量	作付面積 (a)	生産量		飼養頭数 (頭、羽)	生産量	飼養頭数 (頭、羽)	生産量			
水稻	800	40,000kg	1,000	50,000kg							万円	万円
ねぎ(露地)	10	3,000kg	15	4,500kg							万円	万円
											万円	万円

**ポイント**

作付面積はa(アール)単位で記入してください。  
 生産量については、過去の実績を目安に記入してください。

# 手順5 所有、または借り入れを行っている農用地について記入する

(3) 農用地及び農業生産施設												
ア 農用地						イ 農業生産施設						
区 分	所在地		地 目	現 状 (a)	目 標 (R8年) (a)	種 別	所在地		規 模			
	都道府県名	市町村名					都道府県名	市町村名	現 状		目 標 (R8年)	
									棟	m <sup>2</sup>	棟	m <sup>2</sup>
所有地	福島県	石川町	田	500	500	パイプハウス	福島県	石川町	1	500	1	500
	福島県	石川町	畑	10	10							
借入地	福島県	石川町	田	300	500							
	福島県	石川町	畑		5							
その他												
経営面積合計				810	1,015	経営面積合計				500		500

### ポイント①

現在所有、または借り入れを行っている農地について合計した面積を記載して下さい。

### ポイント②

畜舎、温室、育苗ハウス等これらに類する農畜産物の生産の用に供する施設を記載して下さい。  
 なお、倉庫として使用してるハウスや機械置場については記載しないでください。

# 手順6 各目標の現状とこれからの目標及び目標を達成するための措置について記入する①

## ポイント①

農用地の利用条件(ほ場の区画の大きさ、団地化)、作目・部門別合理化の方向、その他の生産方式の合理化等について、例示を参考に、現状、目標及びその目標を達成するための具体的な方策を記載して下さい。(複数記載可)

### 【目標・措置の例】

- ・農地の集積約化 ・農業生産工程管理(GAP)の導入 ・生産の効率化・高度化スマート農業の推進
- ・栽培・飼養に関する新技術の導入 ・自給飼料の生産・利用の拡大
- ・持続性の高い農業生産方式 ・省エネ技術を利用した生産管理の推進 ・有機農業の推進 等

### ③ 生産方式の合理化に関する現状と目標・措置

#### 〈現状〉

- ・ほ場の分散により非効率。 ・基肥+追肥の2回散布。 ・育苗による作付作業。

#### 〈目標・措置〉

- ・農地中間管理機構を利用した規模拡大及び農地の集約化。 ・側条施肥、水稻直播栽培の導入。

### ④ 経営管理の合理化に関する現状と目標・措置

#### 〈現状〉

- ・委託による青色申告。 ・販売価格低迷による所得率低下。

#### 〈目標・措置〉

- ・複式簿記取得による青色申告。 ・直売所比率の増加。 ・将来的には法人化を目指す。

## ポイント②

「④経営管理の合理化に関する現状と目標・措置」欄には、簿記記帳等の会計処理、経営内役割分担、経営の法人化等経営の合理化の方向について、例示を参考に、現状、目標及びその目標を達成するための具体的な方策を記載して下さい。(複数記載可)

### 【目標・措置の例】

- ・簿記記帳等の会計処理 ・経営内役割分担 ・経営の法人化
- ・高付加価値化・ブランド化 ・新たな販路拡大や新製品の創造 ・マーケティング力の強化
- ・顧客に対する情報発信 ・農業生産工程管理(GAP)の導入 等

## 手順6 各目標の現状とこれからの目標及び目標を達成するための措置について記入する②

### ポイント①

「⑤農業従事の態様の改善に関する現状と目標・措置」欄には、人材確保に向けた就業規則等の整備、相続・経営継承に関する取組等について、例示を参考に、現状、目標及びその目標を達成するための具体的な方策を記載して下さい。（複数記載可）

#### 【目標・措置の例】

- ・人材確保に向けた就業規則等の整備・相続・経営継承に関する取組
- ・多様な人材の育成・定着に向けた取組・家族間の役割分担等（家族経営協定を締結している場合）

#### ⑤ 農業従事の態様の改善に関する現状と目標・措置

##### 〈現状〉

- ・不定休で特に休日を設けていない。 ・後継者が育成できていない。

##### 〈目標・措置〉

- ・休日制度の導入。 ・家族間での相続・経営継承に向けた整備。

#### ⑥ その他の農業経営の改善に関する現状と目標・措置

##### 〈現状〉

- ・機械設備の老朽化。

##### 〈目標・措置〉

- ・農業制度資金や補助金等を活用した機械設備の更新、新規導入。（資金名：農業経営基盤強化資金（スーパーL資金）、R\*\*年度、500万円予定）

### ポイント②

「⑥その他の農業経営の改善に関する現状と目標・措置」欄には、先に記載した③生産方式の合理化、④経営管理の合理化及び⑤農業従事の態様の改善以外の取組等について、現状、目標及びその目標を達成するための具体的な方策を記載して下さい。（複数記載可）

なお、農業改良資金等の制度資金の融資を受けることを予定する場合には、予定年度、予定する資金の名称、借入予定額等を記載して下さい。



# 手順7 経営の構成、および機械の取得計画について記載する

(参考) 経営の構成

(1) 構成員・役員									(2) 雇 用 者							
氏 名 (法人経営にあっては役員 の氏名)	年 齢	性 別	代表者との 続柄(法人経 営にあって は役職)	現 状			見 通 し ( R 8 年 )			常時雇 (年間)	実 人 数	現 状	人	見 通 し	人	
				担当業務	主たる 従事者	年間農業 従事時間	担当業務	主たる 従事者	年間農業 従事時間	臨時雇 (年間)	実 人 数	現 状	人	見 通 し	人	
石川 太郎	60	男	(代表者)	全般	○	2,400	全般		2,000			1	人	見 通 し	3	人
石川 花子	60	女	妻	補助		600	全般		1,000			10	人	見 通 し	30	人

**ポイント①**  
 「臨時雇(年間)延べ人数」欄には、臨時雇用の人数 × 日数を記載して下さい。  
 (例) 3人を10日間臨時雇用した場合  
 3人 × 10日 = 30人

(別紙) 生産方式の合理化に係る農業用機械等の取得計画

農業用機械等の名称	数量
トラクター	1
側条施肥機	1

**ポイント②**  
 生産方式の合理化のために、取得する予定の農業用機械及び装置、器具及び備品、建物及びその附帯設備、構築物並びにソフトウェア等を記載して下さい。(複数記載可)  
 なお、「②(3)農用地及び農業生産施設」に記載しているものは記載不要です。